

## 一般財団法人未来医療推進機構

### <役割>

医療機関、大学・研究機関、企業、支援機関等がオープンイノベーションの場を中心に研究開発支援、起業家支援、医療の実践が有機的に連携できるよう、拠点をオーガナイズする。

▶ 2019年11月 (一財) 未来医療推進機構 設立

1.アース環境サービス(株)	2.アズワン(株)	3.岩谷産業(株)
4.インテリムHD(株)	5.大阪府	6.(株)大林組
7.クオリアス(株)	8.(株)コングレ	9.サラヤ
10.シップヘルスケアHD(株)	11.澁谷工業(株)	12.セルソース(株)
13.大日本住友製薬(株)	14.日立造船(株)	15.(株)日立プラントサービス
16.三井住友海上火災保険(株)	17.(株)三井住友銀行	18.ヤマトロジスティクス(株)
19.(株)レイメイ	20.レグセル(株)	21.ロート製薬(株)
22.医療法人渡辺医学会		

理事長：渡邊眞一郎（医療法人渡辺医学会）

副理事長：本間陽一（ロート製薬(株)）

▶ 2019年12月 一般社団法人日本再生医療学会とMoUを締結

### 位置・交通アクセス



### <お問い合わせ先>

一般財団法人未来医療推進機構 事務局  
 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル910号

URL : <https://miraikiko.jp>  
 Email : [jimukyoku@miraikiko.jp](mailto:jimukyoku@miraikiko.jp)

# 未来医療国際拠点

～再生医療をベースとした未来医療の実用化・産業化拠点～



2020年2月  
 一般財団法人未来医療推進機構

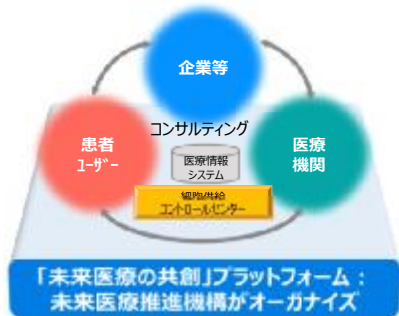
### <拠点のコンセプト>

- 再生医療をベースにゲノム医療や人工知能（AI）、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」の産業化を推進
- 国内外の患者への「未来医療」の提供により、国際貢献を推進

※未来医療とは  
医療に対するニーズの移り変わりや科学技術の革新等、医療を取り巻く環境変化に常に即応しながら、その次の時代に実現すべき新たな医療のこと

### <拠点のめざす姿>

未来医療の「共創」をめざし、未来医療の共創プラットフォームを構築、未来医療の実用化・産業化のエコシステムを形成します



共創プラットフォームが備える機能

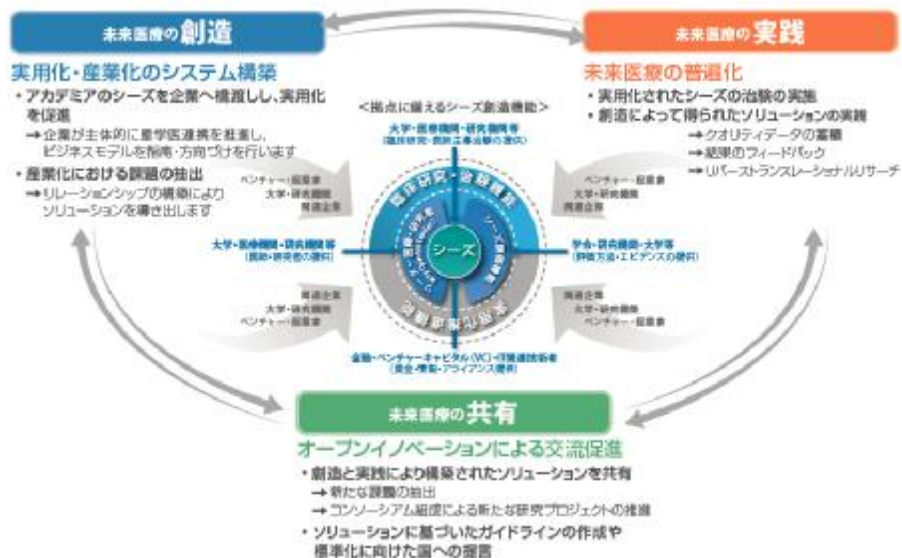
#### 再生医療関連データベース（医療情報システム）

日本再生医療学会のNRMD（再生医療等データ登録システム）を継承、発展させ、臨床研究、治験、市販後調査を通じて得られる中之島独自の医療情報の収集・解析を行います

#### 細胞供給コントロールセンター

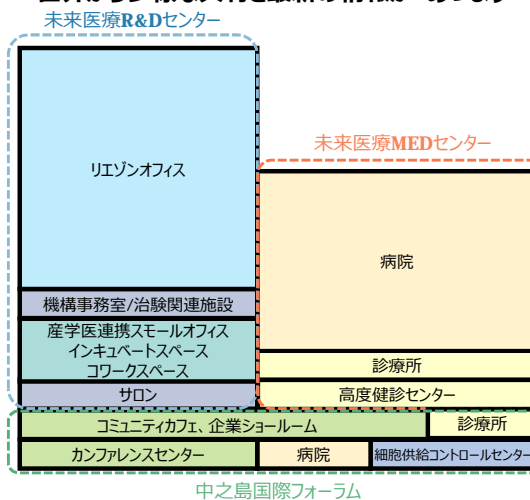
再生医療等製品製造プロセスの標準化を図るため、多種多様な細胞・組織を扱う細胞供給コントロールセンターを整備し、再生医療の実用化・産業化を支援します

### <実用化・産業化のエコシステムのイメージ>



### <拠点の施設構成・概要>

未来医療の創造・実践・共有を実現する2つのセンターとフォーラムで構成され、世界から多様な人材と最新の情報が“あつまり”“つながる”仕組みを備えています



人や情報の“つながり”を通じて未来医療の創造を牽引  
**未来医療R&Dセンター**

- 様々な研究ニーズに対応する複合研究施設
- ・リエゾンオフィス
  - ・研究開発支援施設
  - ・交流促進施設

先端医療や治験等を通じて未来医療の実践を牽引  
**未来医療MEDセンター**

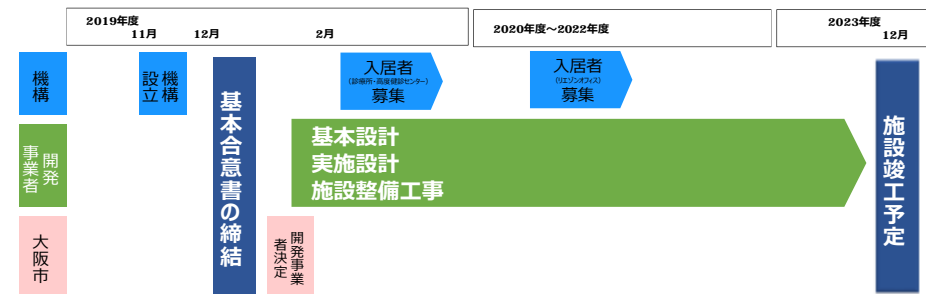
- 未来医療R&Dセンターと連携する複合医療・健診施設
- ・病院
  - ・診療所
  - ・高度健診センター

イベントや国際学会・会議を通じて未来医療の共有を推進  
**中之島国際フォーラム**

- 周辺施設とも連携するオープンスペースを備えた交流施設
- ・カンファレンスセンター
  - ・コミュニティカフェ
  - ・企業ショールーム

所在地 : 大阪市北区中之島4丁目32番12内  
敷地面積 : 8,600m<sup>2</sup>  
延床面積 : 約58,000m<sup>2</sup>  
構造・規模 : 鉄骨造・地上17階建  
駐車台数 : 146台 (うち、身障者用2台、タワーパーキング144台)

### <スケジュール>



### <All Japanの未来医療国際拠点の実現へ>

